令和元年度
第33回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問
及びアメリカ文化・行政視察団
報　　告　　書

令和元年10月18日（金）－10月25日（金）

水　戸　市

公益財団法人水戸市国際交流協会

目　　次

団長あいさつ……1

団員名簿……2

日程表……3

経路図……4

行動の記録……5

団員報告書…… 21

資料編

（1）水戸市とアナハイム市の交流…… 37

（2）両市のプロフィール…… 40

（3）国際親善姉妹都市盟約書…… 40

（4）訪問団員募集要項…… 41

団長あいさつ

公益財団法人 水戸市国際交流協会 理事長　**阿部　真也**

このたび、第33回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問及びアメリカ文化・行政視察団派遣に際しまして、出発前に発生しました台風19号により、水戸市内にも大きな被害がもたらされたことから、本来は団長として参加のご予定でした高橋靖水戸市長をはじめ、５名の市議会議員の皆様は水戸に残られ、被災者救援に当たられました。そのため、急遽私が訪問団の団長を務めることとなりました。12名の団員の皆様とともにアナハイム市等を訪問し、相互理解と友好親善を深めるという目的を無事達成できましたことは大変喜ばしく、団員の皆様のご協力と関係者の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

今回の視察では、新たに就任されたアナハイム市のハリー・セデュー市長への表敬訪問をはじめ、市議会や市内の小学校や高校などへの訪問を通じて、国籍を超えた人と人との交流を行い、両市の市民間の友情をより一層深めることができたことと存じます。とりわけセデュー市長におかれましては、団員一人ひとりにお声をおかけいただき、また、市の関係者の皆様にも熱烈な歓迎を受けました。アナハイム市の皆様に、厚く御礼申し上げます。

団員の皆様におかれましても、一人ひとりが熱意と使命感をお持ちになり、積極的に市民間の交流を深められたことは、大変頼もしい限りでした。このように重ねられてきました長い交流の歴史に、一市民としても感謝申し上げます。

さらに、今回の訪問では、平成15年度以来となる、水戸市からアナハイム市への雛人形の贈呈という、記念すべき出来事がありました。これまでアナハイム市において展示されていた雛人形は水戸市に里帰りとなり、新たに寄贈された二代目の雛人形は、両市の友情の証として、アナハイム市において末永く親しまれていくことと思います。

今回の訪問により、両市の友情はより一層深められました。近い将来、セデュー市長をはじめとするアナハイムの皆様を水戸市にお迎えできることを、楽しみにお待ちしたいと思います。

結びに、誠実と信義に満ちた両市の友好親善関係がますます深められますとともに、両市のさらなる発展を祈念いたしまして、あいさつといたします。

団　員　名　簿

（順不同・敬称略）

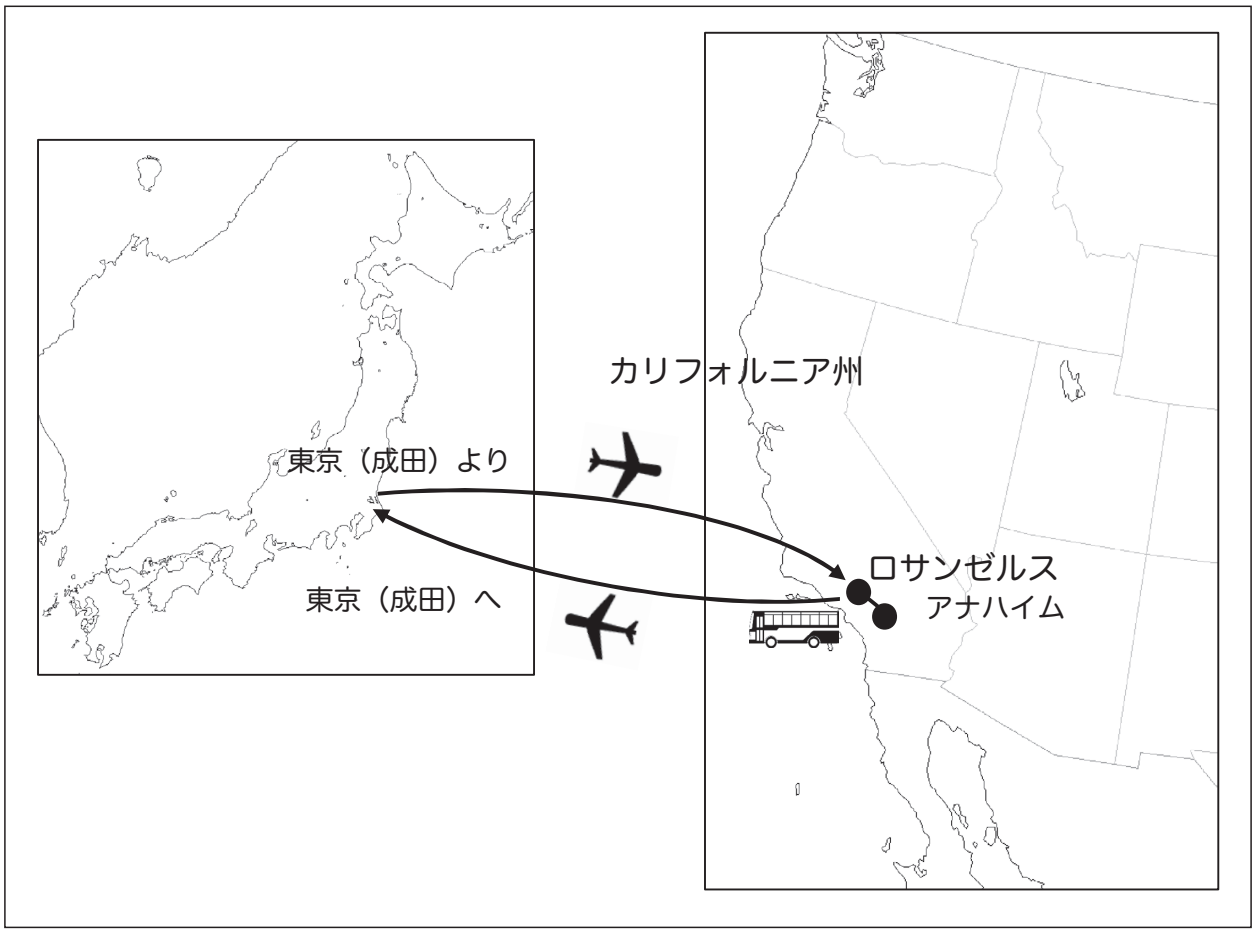
No.	役職等	氏　　名	性別	備　　考
1	団　長	阿　部　真　也	男	水戸市国際交流協会理事長
2	団　員	秋　山　恒　典	男	
3	団　員	宇　田　順　子	女	
4	団　員	加　藤　啓　進	男	
5	団　員	加　藤　紀　子	女	
6	団　員	野　田　弘　行	男	
7	団　員	村　島　俊　太	男	
8	団　員	横須賀　あい子	女	
9	団　員	和　田　祐之介	男	
10	団　員	和　田　由美子	女	
11	団　員	和　田　幾久郎	男	
12	随行員	王　　偉　亜	男	水戸市国際交流協会事務局長
13	随行員	川　上　亜希子	女	水戸市国際交流協会国際交流係長
14	添乗員	松　井　きよみ	女	株式会社ＪＴＢ

【日　程　表】

日次	月日(曜)	現地時間	地　名	交通機関	行　　程
1	10/18 (金)	14:20 14:30 16:00 19:00	水戸市役所 水戸市役所発 成田空港着 成田空港発	 専用バス SQ12便	出発式 成田空港へ ロサンゼルスへ(直行便約10時間10分)
		・・・・・・・・・・ 国際日付変更線通過 ・・・・・・・・・・			
		12:00 14:20	ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス空港発	専用バス	到着後、ロサンゼルス市内視察 (チャイニーズシアターなど) ＜ロサンゼルス近郊泊＞
2	10/19 (土)	10:00	ロサンゼルス	専用バス	ロサンゼルス市内視察 (ゲティ美術館、ファーマーズマーケットなど) ＜ロサンゼルス近郊泊＞
3	10/20 (日)	10:30 夕刻	ロサンゼルス ロサンゼルス発 アナハイム着	専用バス 専用バス	ロサンゼルス市内視察 (シタデルアウトレット、商業施設) アナハイムへ ＜アナハイム泊＞
4	10/21 (月)	終日	アナハイム		自由行動(オプショナルツアー) ＜アナハイム泊＞
5	10/22 (火)	終日	アナハイム	専用バス	アナハイム市親善プログラム(公式行事) 市長表敬訪問、雛人形贈呈式、 歓迎昼食会 等 ＜アナハイム泊＞
6	10/23 (水)	終日	アナハイム	専用バス	アナハイム市親善プログラム(公式行事) 市内小学校・高校訪問、 エンゼルスタジアム 等 ＜アナハイム泊＞
7	10/24 (木)	 11:00 12:10 15:30	 アナハイム発 ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス空港発	 専用バス SQ11便	(出発まで自由行動) ロサンゼルス空港へ 東京(成田)へ (直行便約11時間45分)　＜機中泊＞
8	10/25 (金)	19:15 21:00 22:45	成田空港着 成田空港発 水戸市役所着	 専用バス	 水戸市役所へ 解散

※利用航空会社：シンガポール航空(SQ)
　利用ホテル：ニューガーデナホテル(ロサンゼルス市近郊)、クラリオンホテルアナハイムリゾート(アナハイム市)

【経路図】



【宿泊先】

ロサンゼルス	NEW GARDENA HOTEL ニューガーデナホテル
アナハイム	CLARION HOTEL ANAHEIM RESORT クラリオンホテルアナハイムリゾート

行動の記録

アナハイム市長表敬訪問

1日目 10月18日㊎
水戸市 ⇒ ロサンゼルス市

14:20　水戸市役所　集合
14:30　水戸市役所　出発
16:00　成田国際空港　到着
19:00　成田国際空港　離陸（SQ012便）
　　※フライト時間約10時間10分
✈✈✈✈ …… 国際日付変更線通過 …… ✈✈✈✈
12:00　ロサンゼルス国際空港　到着
14:20　ロサンゼルス国際空港　出発
15:00　ロサンゼルス市内視察（サンタモニカビーチ、マリーナデルレイ、ビバリーヒルズ、センチュリーシティ、ドルビーシアター、チャイニーズシアター）
17:00　自由散策（約1時間）
18:00　夕食〈ハードロックカフェ ハリウッドにて：ニューヨークステーキ、チーズケーキ〉
19:30　ホテルへ〈ニュー ガーデナ ホテル〉
20:40　解散

令和元年度（第33回）国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問団及びアメリカ行政・文化視察団は、令和元年９月18日（水）に水戸市国際交流センターにおいて結団式を行い、10月18日に出発の日を迎えた。今回の訪問団では、10月11日に上陸した台風19号により、水戸市も甚大な被害を受けたことから、災害対応のため高橋靖市長及び安藏栄市議会議長をはじめとする市議会議員の方々の訪米が中止となり、阿部真也水戸市国際交流協会理事長を団長とする市民訪問団13名がアナハイム市へ訪問することとなった。出発当日、ぱらぱらと雨が降り始めたなか、多くの関係者の方々の見送りを受けながら出発した。

成田国際空港から約10時間10分に及ぶ長いフライトを経て、無事ロサンゼルス空港に到着、飛行機からシャトルバスに乗り継ぎ、ようやく到着ターミナルに着いたかとほっとしたのも束の間、厳しいセキュリティチェックと入国審査が待ち受けていた。空港内はとても混雑しており、手続きを終え空港を出るまでに、２時間以上を要した。ロサンゼルスはこの日もカラッと晴れ、外は少し動くと暑いくらいで10月とは思えない気候であった。一行は空港を後にし、専用バスでロサンゼルス市内へと向かった。下車視察や車窓視察などを交えながらロサンゼルス市内を視察するなか、現地ガイドの石井さんがそれぞれの場所のエピソードについて聞かせてくれ、団員は熱心に耳を傾けていた。

ロサンゼルス空港にて

ロサンゼルス市内を見て回ると、歩道のあちらこちらに同じ種類の電動キックボードが停めてあるのを目にした。石井さんに聞いてみると、ロサンゼルスでは、アプリを使ってレンタルできる電動バイク・スクーターが増えており、空いているスクーターは連動するアプリから検索し、空いていればどこからでも借りることができ、利用可能区間内で乗り捨てできるところが利用しやすく、大人気であるとのこと。通りを見ていると、若者がスマホを片手に歩いてきたかと思うと、颯爽と電動スクーターに乗って走り去っていく姿が見られた。いつか日本でも目にする日が来るのだろうか・・・。

夕食は、アメリカでも有名なハードロックカフェへ。日本では目にしない大きさのステーキやサイドメニューのボリュームに圧倒されたものの、皆さん完食に向け果敢にチャレンジしていた。

夕食後、ロサンゼルス市近郊にあるホテルへと向かった。今回宿泊のホテルは日系ホテルで、フロントなどホテル内では日本語を使うことができたので、団員の方にも安心して宿泊していただけたようであった。フロントに日本のカップラーメンやレトルトご飯が置いてあるのを見て、安堵した様子が窺えた。

サンタモニカにて

ドルビーシアターから眺めるハリウッドサイン

チャイニーズシアターにて

2日目 10月19日土
ロサンゼルス市：ゲティ美術館、ファーマーズマーケット

10:00　ホテル　出発
10:40　ゲティ美術館（The J. Paul Getty Museum）見学
13:00　ファーマーズマーケット（The Original Farmers Market）視察
　　〈各自昼食、自由行動〉
16:00　ホテル　到着
18:25　夕食　〈Ojiyaにて：日本食〉
21:00　解散

前日の疲れが心配されたが、時差ぼけなど無いかのように早起きをしてホテル周辺を散策する人もいるなど、皆さん元気な様子であった。この時期のロサンゼルスは日の出時間が遅く（午前７時頃）、６時台は辺りもまだ薄暗い。そのようななか、早朝からジョギングで汗を流す方もいらっしゃった。帰国後すぐに開催される水戸漫遊マラソンに出場するためのトレーニングだとのこと、日々鍛錬を重ねることの大切さを目の当たりにし深く敬服するばかりであった。

この日もロサンゼルスは快晴で、日差しは強いものの湿度がなくとても過ごしやすい一日だった。アメリカ滞在２日目、まずは「ポール・ゲティ美術館」を訪れた。ゲティ美術館はロサンゼルス郊外の丘の上に位置しており、麓にある駐車場にバスを止め、専用トラムで丘を登っていく。頂上にある美術館からは、ロサンゼルスの街並みを一望することができ、その景色はとても素晴らしいものであった。美術館すべての建物が白い大理石で作られており、カリフォルニアの真っ青な空に眩しいほどの白い建物がとても印象的で、建築物としても魅力的である。

トラムに乗って丘の上のゲティ美術館へ

ゲティ美術館はＪ・ポール・ゲティのコレクションをもとに創設され、マネやゴッホのほか、様々な時代の絵画や彫刻、調度品などの美術品を無料で鑑賞することができる。広大な敷地内に、常設展示である５つのパビリオン（東館・西館・南館・北館、展示ギャラリー）のほか、建築物や中庭など見どころがたくさんあり、一日中滞在しても見飽きない。また、ゲティ美術館は教育的観点から、学生が作品を模写したり、フラッシュを使用しなければ写真も自由に撮影することができるため、好きな美術作品をより楽しむことができる。今回は、短時間で効率よく作品を見て回れるよう現地ガイドの石井さんが事前に主要作品の展示場所をレクチャーしてくださり、

白亜のゲティ美術館

一行はまず主力作品であるゴッホやモネの名画を鑑賞、その後は自由鑑賞となった。短時間ではあったが、素晴らしい作品の数々を通して教養を深め、名残惜しく美術館を後にした。

美術鑑賞後は、昼食を兼ねてロサンゼルス市内にあるファーマーズマーケットへ。ここでは、新鮮な野菜や果物などを手に入れることができる。様々な農産物が量り売りされており、果物や野菜、ナッツ類、食肉加工品、お菓子類などのほか、アメリカらしいハンバーガー店やエスニックフードなど多種多様に渡りたくさんの店が軒を連ねている。この日は週末でちょうど昼時ということもあり、ファーマーズマーケットは大勢の人で賑わいを見せていた。一行は、新鮮な作物とローカルフーズを堪能し、思い思いの時間を過ごした。

ゲティ美術館ー正面入口前にて

ゲティ美術館内にてー自由に写真撮影ができる

ファーマーズマーケットー地元の新鮮な食べ物が手に入る

3日目 10月20日日
ロサンゼルス市／アナハイム市：商業施設視察

10:30　ホテル　出発
10:40　地元スーパーマーケット
12:35　アウトレット（Citadel Outlet）　到着
〈各自昼食、自由行動〉
14:30　アウトレット　出発
〈アナハイム市へ向けて〉
15:00　大型スーパーマーケット
ウォルマート（Walmart）　到着
16:10　ホテル　到着〈クラリオン ホテル アナハイム リゾート〉
19:00　夕食〈アウトバックにて：ステーキ〉
21:00　解散

トレーダージョーズ
－地元の有名なスーパーマーケット

シタデル・アウトレット

夕食にて
－2019アナハイム市学生親善大使とともに

4日目 10月21日月
アナハイム市：自由行動

（終日）　自由行動

ディズニーランド
－ハロウィンイベントで大賑わい

地元日系企業視察

5日目 10月22日火

アナハイム市：市長表敬訪問、雛人形贈呈式、歓迎昼食会、市内視察、アナハイム市議会

9:50　ホテル　出発
10:30　市長表敬訪問
11:25　雛人形贈呈式
12:15　歓迎昼食会〈イタリアンレストラン「ホワイトハウス」にて〉
14:20　アナハイムバレエ団（Anaheim Ballet）鑑賞
15:15　水再処理設備（Water Recycling Demonstration Facility）視察
　　フレンドシップ プラザ（Friendship Plaza）、交流の誓い（壁面）見学
17:00　アナハイム市議会　出席
18:30　夕食〈ブッカにて：パスタ、チキンカツレツ、チーズケーキ〉
20:30　解散

いよいよ公式行事１日目。アナハイム市及び同市姉妹都市委員会による友好親善プログラムが予定されており、団員は全員正装で、少し緊張した面持ちが見受けられるなか公式行事に臨んだ。

最初の公式行事は市長表敬訪問であった。2018年12月に就任したハリー・セデュー市長が笑顔で一行を出迎えてくださり、１時間ほど談話する機会が得られた。今回の団長である阿部真也水戸市国際交流協会理事長が訪問団を代表して挨拶したなかで、今回の訪問団に高橋靖水戸市長が来訪できなかったことに触れ、水戸の台風被害の様子なども伝えることができた。アナハイム市も水戸市同様、近年は自然災害の猛威にさらされることが多くなり、災害の脅威や災害への対策など互いに共通した認識を持っていることが窺えた。セデュー市長は大変友好的で親しみやすい方で、団員に自己紹介を促し、一人ひとりが話すアナハイム市で感じたことや抱負などにも熱心に耳を傾けてくださった。そしてセデュー市長は、13年前に市議会議員として水戸市を訪れた思い出に触れ、今度はアナハイム市長として水戸市を訪問したいと希望を述べられていた。

市長表敬訪問　セデュー市長：後列右から7人目

市長表敬訪問後、市庁舎１階のエントランスに設置されている水戸市や日本文化を伝える展示コーナーにおいて、雛人形贈呈式が行われた。長年に渡る水戸市とアナハイム市の友好交流の記念として、平成15年に贈られた雛人形は、多くのアナハイム市民の目を楽しませ、また日本文化に触れ水戸市のことを知る一助となることを願うもので、前回同様、今回も雛人形の寄贈・設置には、和田祐之介様（株式会社 祐月本店）のご厚意・ご協力を賜り、16年ぶりに雛人形のリニューアルを行うことができた。雛人形贈呈のセレモニー後、市長をはじめとする多くのアナハイム市関係者及び姉妹都市委員会関係者が、じっくりと時間をかけて雛人形を鑑賞し、その素晴らしさに感嘆していたことがとても印象的であった。これから先も両市の交流が続いていくことを感じながら、和やかにセレモニーを終えた。

市庁舎内に展示された雛人形

雛人形贈呈

昼食を兼ねた歓迎昼食会は、市庁舎から15分程離れた「ホワイトハウス」というイタリアンレストランにて、市長及び市関係者、姉妹都市委員会関係者が集まるなか執り行われた。厳かな雰囲気の中始まった歓迎会も時間が経つにつれ互いに会話も弾み、両市長からの記念品贈呈を皮切りに、出席者全員がそれぞれプレゼントを手に和やかに談笑していた。アナハイム市からの素晴らしいおもてなしを受け、名残惜しい気持ちを胸に昼食会会場を後にした。

歓迎昼食会
ーイタリアンレストラン「White House」にて

午後は、アナハイムバレエ団の稽古場を訪れた。アナハイムバレエ団員によるパフォーマンスをいくつか披露していただき、その素晴らしさにとても感動した。特に、披露していただいたパフォーマンスの中に、日本を代表するアニメ「千と千尋の神隠し」から「いつも何度でも」の曲に合わせたナンバーがあった。「ダンスに言葉は必要ない。国境も越えて、互いに分かり合えることができる」とお話してくださったアナハイムバレエ団のラリー・ローゼンバーク代表（Larry Rosenberg / Executive Director）の言葉が、そのパフォーマンスとともに強く印象に残った。

アナハイムバレエ団とともに

その後ふたたび市庁舎に戻り、敷地内にある水再処理施設を視察した。アナハイム市はもとより、カリフォルニア州は特に夏は降水量が少なく、毎年大規模な山火事が発生するなど深刻な水不足に悩まされ、厳しい取水制限が敷かれている。そのため、少しでも水不足解消の一助となるようアナハイム市では、市庁舎敷地内に廃水の再処理施設を整備し、実証実験を重ねている。再処理施設は都市部に設置することを想定しているため、設備の設置面積をできる限り小さくしており、騒音がなく無臭の環境の中、持続可能な方法で廃水をリサイクル処理することを目指している。リサイクル処理された水は、現在、市庁舎内のトイレや景観灌漑、近くの公園などで利用されており、１日約50,000ガロン（189,270リットル）の水が処理されている。アナハイム市では取水制限が敷かれると、歩道や公共施設、庭先の芝生や植木などにさえ、水をあげることができなくなるという。そのような中、この水再処理施設は大変画期的な取り組みであり、アナハイム市にとって重要な水管理戦略の一つであるとともに、南カリフォルニア地域で注目を集めているプロジェクトであることが見て取れた。アナハイム市ほどでは無いにせよ、夏には日本でも深刻な水不足に悩まされる地域もあり他人事ではないことから、団員は真剣な表情で施設を視察していた。

水再処理施設の視察後は、市庁舎内にある「フレンドシップ プラザ」や「壁面～友情を誓って」などを見学し、アナハイム市議会が開会される17時までゆっくりとした時間を過ごした。

いよいよこの日最後の公式行事であるアナハイム市議会に出席した。議場は傍聴する市民や市関係者などで、ほぼ満席であった。議会開始後、冒頭で水戸市親善訪問団の紹介とともに歓迎の意が表され、団員は市長及び議員とともに記念写真を撮影し、議場を後にした。

ようやく長い一日を終え、少し疲れが見て取れたが、ひとまず大役を終えた団員たちは安堵の表情を浮かべていた。目まぐるしいスケジュールであったが、それぞれが充実した時間を過ごすことができたように思う。

アナハイム市議会にて

6日目 10月23日水
アナハイム市：学校訪問、市内視察

8:00　ホテル　出発
8:15　ベッツィー ロス小学校（Betsy Ross Elementary School）視察
9:50　ロアラ高校（Loara High School）視察
11:00　昼食〈ババガンプにて：チーズバーガー〉
12:10　エンゼルスタジアム（Angels Stadium）視察
14:15　ミュゼオ（MUZEO）見学
15:35　アナハイムコンベンションセンター（Anaheim Convention Center）視察
16:40　ホテル　到着
18:30　夕食〈トニーロマにて：スペアリブ〉

ベッツィー ロス小学校にて－幼稚園生がお出迎え

前日の余韻が残りつつも、この日も朝から精力的なスケジュールであった。ホテルからバスで約15分、アナハイム市地区にあるベッツィー・ロス小学校に到着。ベッツィー・ロス小学校は、今夏、アナハイム市学生親善大使の引率者として来水した先生方が勤めている学校で、数か月ぶりの再会に感激した。

まず、学校内の図書室に案内されると、附属幼稚園の子どもたちが歌で私たち一行を歓迎してくれた。続いて、小学生が学校生活を通して自分が力を入れている活動について、発表を行った。地域での奉仕活動のほか、教室内での見守り活動（いじめ対策）、下級生の学校生活支援など、その活動は様々であった。併せて、ベッツィー・ロス小学校における教育の特色について説明があり、この学校を含むアナハイム市地区の小学校では、「e^2STEAM-D」と呼ばれる教育プログラムに力を入れているとのことであった。

「e^2＝Engaging（魅力ある教育）、Equitable（公平性）」
誰もが平等に教育の機会を受けることができるとともに、個々のニーズに合った教育を提供する

「S＝Science（科学）」
フィールドトリップなどを通して、実践的な学習の機会を提供する

「T＝Technology（テクノロジー）」
ICTの活用はもちろんのこと、コーディング（プログラミング言語を用いてソースコードを記述する）学習のほか、eSports初級カリキュラムを提供する

「E＝Engineering（エンジニアリング）」
エンジニアリングデザインの授業を提供する

「A＝Arts」
生徒の創造性を促進するために、芸術プログラムを提供する

「M＝Math（数学プログラム）」

ST数学プログラムなどのカリキュラムを通して、生徒の批判的思考と問題解決能力の向上をめざす

「D＝Dual Language Immersion（バイリンガル教育）」

バイリンガル及びバイリテラシーになる機会を提供する

学校の特色と教育の質の高さが伺える素晴らしいプレゼンテーションの後、それぞれのクラスを見学した。アルファベットやことばを習う園児のクラス、小学生のスペイン語のクラス、低学年でショート動画を制作するクラスなどであった。どのクラスも、先生が一方的に授業を行うのではなく、生徒一人ひとりが自分で考えながら積極的に授業を進めていく様子を見ることができた。特に、幼少期からプログラミングに取り組むクラスでは、団員も興味津々の様子で、子どもたちに話しかけている様子も見受けられた。

ベッツィー ロス小学校にて

プログラミングの授業を見学

続いて、ロアラ高校を訪れ、日本語クラスの授業を見学した。今回は時間も限られていたことから、残念ながら団員とクラスとのコミュニケーションの時間がなかったが、30人程いる生徒が熱心に日本語を学んでいる様子を見ることができた。校内見学の際は、日本語ができる生徒が数人アテンドとして団員に付いてくれたため、団員はそれぞれ疑問に思うことを生徒に尋ねることができた。

ロアラ校内には、社会教育の一環として市内の銀行の協力を得て支店が設けられており、生徒が銀行業務や商業システムを実地で学べるようになっているとの説明があり、団員はこのカリキュラムに大変な関心を寄せていた。また、校内中にレッドリボンが装飾されていたので理由を尋ねると、毎年10月最終週は「レッドリボン週間」となっており、薬物やアルコールの乱用防止、HIV等の予防に関する啓発運動の一環としてレッドリボンが掲げられるとのことであった。

駆け足での学校視察であったが、教育水準の高いアナハイム市での取り組みや教育システムの特色、教育制度の違いなどをまざまざと感じることができた。

ロアラ高校にて－日本語クラスの授業を見学

生徒会のメンバーとともに

午後からは、待望のエンゼルスタジアムを視察した。試合日には人で混み合ってゆっくり見ることもできないメインゲートをじっくりと見ることができた。正面には、人気選手の大きなポートレートがあり、地面にはレンガタイルで球場のフィールドが再現されているほか、寄付者や開幕スタメン入りした選手の名前などが刻まれている。その後、いよいよバックヤードを見学させてもらえることとなり、VIPルーム、報道席、プレスルーム、選手用地下練習場、ロッカールームなどを見学することができた。団員は、普段足を踏み入れることもできないエリアも見学することができ、それぞれを興味深げに見入っていた。

エンゼルスタジアム正面

正面・大谷選手ポスター

ダグアウトにて

フィールド

エンゼルスタジアムにて

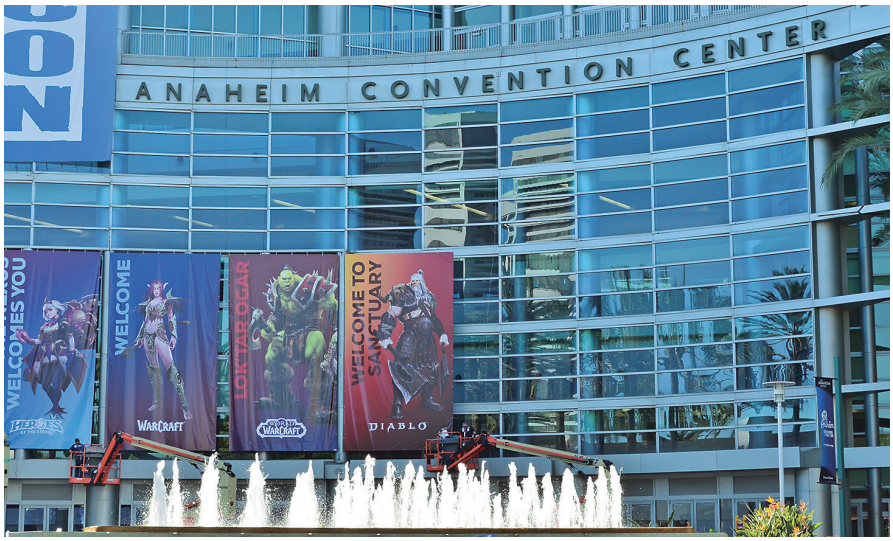
次に訪れたのは、市庁舎の目の前にある市博物館「ミュゼオ」である。当館では、アナハイム市の歴史を学ぶことができるが、折しも特別展「I am American-Japanese Incarceration in a Time of Fear(アナハイムにおける日系人強制収容)」が開催されていた。第二次世界大戦を通して、アナハイム市に住んでいた日系人の軌跡を伝えるもので、展示を通して、当時の方々の生活や思いを窺い知ることができ、感慨深かった。

ミュゼオ
ー特別展主催者のパティ・平原さんとともに

特別展の様子

最後に、南カリフォルニア最大の国際会議場であるアナハイムコンベンションセンターを視察した。同コンベンションセンターは、世界中から集まるゲーム関係の催しの準備中ということもあり、細部にわたって見せてもらうことができなかったのは残念であった。

全ての公式行事・視察を無事に終えることができ、それぞれがほっとした様子であった。夕食ではこれまでの出来事を振り返り、談笑しながら食事を楽しみ、ゆっくりとした時間を過ごした。



アナハイムコンベンションセンター

7・8日目 10月24日木/10月25日金

帰国:アナハイム市 ⇒ 水戸市

11:00　ホテル　出発
12:10　ロサンゼルス国際空港　到着
15:30　ロサンゼルス国際空港　離陸(SQ11便)
　　※フライト時間：約11時間45分
✈✈✈✈ …… 国際日付変更線通過 …… ✈✈✈✈
19:15　成田国際空港　到着
21:00　成田国際空港　出発
22:45　水戸市役所　到着

ガイド・通訳・添乗員

日本への帰国の日、あっという間の一週間だった。この日のアナハイム市は、朝から強い風が吹いており、地元の方から、乾燥しているなか強風が吹くと草木が擦れ合って自然火災が発生しやすいため、警報が出ているとの話を聞いた。カリフォルニアでは天気予報で、風の吹き具合や自然災害の発生予想などの情報も発表されるとのことで、土地柄を感じた。(その後、火災発生のニュースは無かったので、大事に至らず良かったとホッとした)

一行は強い風の吹く中、予定通りホテルを出発し、一路ロサンゼルス空港へ。カラッと晴れた爽やかで心地の良い気候から日本の肌寒い気候へ戻らなければならないかと思うと、少し残念な気がした。日本では台風20号の接近・上陸が危ぶまれていたが、その危険性も回避され、無事帰国の途に着けそうであると安堵した。

予定通り飛行機へ搭乗し、約12時間のフライトを経て、成田空港に到着した。すると、関東一円で暴風雨に見舞われ、成田空港付近で浸水・交通マヒが発生し、高速道路や主要道路等が一時閉鎖されていた。台風の心配がなく安心していたところまさかの大雨情報で、暫くの間、空港内で足止めされてしまった。それでも１時間ほどすると交通機関が動き出し、無事迎えのバスとも合流することができた。

市役所到着予定時刻を遥かに超え、ようやく水戸に帰ってくることができたが、帰着後、水戸市も台風19号の被害が完全に復旧しないまま大雨に見舞われ、千波湖周辺や市内のあちこちで浸水の被害があったことを知り、被害の大きさに思いをめぐらせ、団員全員が無事に帰水することができたことに安堵した。

今回の親善訪問は自然災害に翻弄されることが多かったものの、大きなトラブルやけがもなく友好親善プログラムを終えることができた。団員の目的意識も高くそれぞれに有意義な８日間を過ごすことができ、この親善訪問を通じて、水戸市とアナハイム市との市民交流の一翼を担うことができたのではないかと思う。最後に、このプログラムに携わったアナハイム市及び水戸市の関係者の方々に心から感謝したい。

市長表敬訪問（10月22日）

〈セデュー市長〉

みなさま、ようこそいらっしゃいました。今年もまた、長年友好関係を築いてきましたみなさまとお会いできて光栄に思います。また、みなさまをお迎えできて幸せに思います。私は45年前にインドからアメリカに移住しまして、去年からアナハイムの市長をしております。インド系アメリカ人でははじめてのアナハイム市長になります。市長になる前に8年間、議員として勤めていましたが、その間、2006年頃に一度水戸市を訪れております。市長として、来年か再来年に、また水戸を訪問したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

〈阿部団長〉

市長は45年前にアメリカにいらっしゃったと伺いましたが、私も丁度45年前にアナハイムを訪れており、１年ほど住んでおりました。またこの機会にアナハイムを訪れることが叶い、とても幸せであると同時に、お会いできて光栄に思います。高橋靖水戸市長からの親書をお預かりしておりますので、ここでお渡しいたします。高橋市長は、今まさに災害対応のために尽力されていることと思いますが、今回来られなかったことを大変残念と申しておりました。

〈セデュー市長〉

この度の台風では大変な被害を受けられたと伺っております。心よりお見舞い申し上げます。

〈阿部団長〉

台風は毎年あるのですが、年々、台風の被害が大きくなってきており、憂慮しております。我々も台風に対抗していかねばなりません。

〈セデュー市長〉

妻も以前、水戸市を訪れておりますが、私が市長になったので、ぜひ水戸市に行くべきだと妻からも言われております。

〈阿部団長〉

私も昨年、水戸市国際交流協会の理事長になりました。理事長として、水戸市にみなさまをお迎えできることを大変光栄に思います。

〈セデュー市長〉

改めまして、みなさま、ようこそお越しくださいました。みなさまをお迎えできることを大変光栄に思っております。何十年にも渡って培ってきた水戸市との友情を誇りに思っております。学生さん同士の交流もそうですが、市民レベルでも、何十年にも渡って築いてきた関係ですので、本当にうれしく思っております。みなさまは昨日から明日まで、訪問されるわけですが、どうか楽しんで、アナハイム市を満喫なさってください。

雛人形贈呈式（10月22日）

〈阿部団長〉

水戸市国際交流協会理事長の阿部真也でございます。本来であれば高橋靖水戸市長がご挨拶申し上げるところではございますが、先週末の台風19号の影響により、水戸市も川が氾濫し、浸水するなど、甚大な被害を受けたため、残念ながら訪米することができませんので、市長に代わり、ご挨拶申し上げます。この度は、雛人形の贈呈式において、このようなご挨拶ができますことを大変うれしく思います。水戸市とアナハイム市は1976年に国際親善姉妹都市の盟約を締結して以来、市民の相互交流をはじめとしたさまざまな親善交流を行い、友好を深めて参りました。両市の友好親善の絆がより一層強くなることを願い、水戸市からアナハイム市へ、新たな雛人形を寄贈するものであります。またこの人形は、元水戸市長でアナハイム市名誉市民でもある故和田祐之介氏の工房で制作されたものです。この人形の贈呈を契機として両市の友好関係がさらに深まることを祈念して、ご挨拶といたします。ありがとうございました。

〈セデュー市長〉

水戸のみなさまに、このように新しい人形をお持ちいただいて、心より感謝しております。大変光栄に思います。

議会訪問（10月22日）

〈セデュー市長〉

皆様もお気づきかと思いますが、本日、アナハイム市の姉妹都市である水戸市の親善訪問団の方々を本議会にお招きしております。本日、ここに親善訪問団員の皆様にご出席を賜り、誠に光栄です。

水戸市との姉妹都市交流は1976年に始まりましたが、この本議会開始前に両市の親善交流を記念して、日本の伝統的な結婚式を模した素晴らしい雛人形を寄贈していただきました。市庁舎正面玄関の展示コーナーに展示されております。皆様もお帰りの際に、ぜひご覧ください。

水戸市から受ける文化的影響は、私たちアナハイム市民に豊かさをもたらしてくれています。数十年にわたる両市や市民同士の交流は、私たち自身を成長させてくれました。

これまでに、私たちは互いを理解し合い、互いに尊重し合いながら交流を促進してまいりました。その結果、国際親善姉妹都市の盟約を締結してから気づけば43年もの間、途絶えることなく互いの友好関係を続けてくることができました。

さて、ここで皆様に一つご報告があります。皆様も既にご存じかとは思いますが、このたび、大型の台風が水戸市や東日本を直撃しました。それにより、今回、高橋水戸市長の訪米が叶いませんでした。今回の台風は、水戸市にも甚大な被害を与えたと聞き及んでおります。水戸市や東日本の早期回復をお祈り申し上げます。また、訪問団の皆様にも平安が訪れることを願いまして、挨拶といたします。それでは、水戸市親善訪問団の皆様をご紹介いたします。

団員報告書

アナハイムバレエ団と

姉妹都市交流43年の歴史に感謝

阿部　真也

直前に台風19号により、水戸市内における被害対策のため、市長をはじめ5名の市議団が参加できなくなりました。代わりに私が団長として、12名の親善団員とともに、心細くはありましたが、歴史ある姉妹都市の友好親善に努められたらと、決意を新たにいたしました。水戸市役所前から専用バスでの出発でしたが、副市長、市議、市の関係者や訪問団のご家族たちに見送られて成田空港へと向かいました。添乗員は松井きよみさんで、明るくてきぱきとして、元気な方で、順調にアメリカ・ロサンゼルスに到着することができました。またそこで、現地ガイドのしっかりした女性と、運転手さんが加わり、頼もしい訪問団になりました。

ロサンゼルスに到着し、すぐにビバリーヒルズをはじめ、サンタモニカなどの美しい景色を見ながら、買い物を楽しみ、ホテルに入りました。翌日は、ゴッホやルノワールなどの名画を所蔵するゲティセンターを見学しましたが、私は美術好きですので、心ゆくまで堪能いたしました。

アナハイムでの公式行事では、最初に市庁舎に伺いました。私は45年前にアナハイムに住んでいたことがあり、大変懐かしい気持ちで訪れました。大きな応接間へ案内されると、市長がお見えになりました。私は、できる限りの英語でご挨拶いたしました。市長はやさしく、各団員に声をかけられ、一人一人とお話しされました。贈り物も数多くいただきました。

アナハイム市庁舎には、以前、水戸市から贈呈された雛人形が飾られておりましたが、今回、初代の人形は水戸に里帰りさせ、水戸市からアナハイム市には新たに2代目の雛人形が贈呈されました。雛人形は、市庁舎1階の玄関入ってすぐの目を引く場所に飾られました。その展示の様子を、皆で見ました。ご提供くださいました和田さんに、感謝いたします。アナハイムに、こんなにも日本を近く感じることができる場所があることを、大変嬉しく思いました。

昼食には、「ホワイトハウス」というレストランに案内されました。アナハイムにこのような素晴らしいレストランがあることを、私は知りませんでした。特別なランチを用意していただき、大変なおもてなしを受けました。大歓迎に、大変うれしく、心が温かくなりました。

昼食後、市の関係者の案内で、アナハイムバレエ団を訪問しました。先生や団員の方々にバレエショーを見せていただきました。「千と千尋の神隠し」をバックにバレエをしていただき、胸が熱くなりました。団員の方々に感謝いたします。

庁舎に戻り、フレンドシッププラザを案内していただきました。そこには、アナハイム名誉市長である、幡谷前国際交流協会理事長を記念する銅板が設置されておりました。水戸市の関係者の方々や、水戸市国際交流協会が築いてき

た交流の深さの証だと感じ、この交流を大切にしていかなければと思いました。

その後、更に、議会に招待されました。多くの市民が傍聴する中、最前列で傍聴させていただきました。また、議長、市議に案内され、席の前に出て記念撮影をいたしました。市民、市議の皆様から大きな拍手を受け、感動いたしました。ご挨拶する機会はありませんでしたが、市長、市議、市民の皆様を前に、大きな声で“Thank you very much !”と感謝を何度も述べ、退席いたしました。

翌日も、学校や歴史施設等、様々な場所を訪問しました。市民から歓迎を受け、心のこもった様々なお土産をいただき、感動しました。団員達も、市民の気持ちをもって、それに応えて交流を心がけ、楽しんでいました。団員のみなさまとにぎやかに食事や語らいをアナハイムの地で盛り上がってできました。

行事の合間を縫って、オレンジ市にある私の弟の会社を訪問し、この地に会社を構えて40年間の話を聞きました。アナハイムでの表敬訪問の際、弟は訪問団員一行に常に付き添ってくれました。弟も団員の皆様をお迎えすることができて、大変喜んでおりました。

今回の訪問に際し、アナハイム市長や市の関係者の方々、姉妹都市委員会の皆様には、大変なおもてなしを受けました。近い将来、セデュー市長は、アナハイム市民の皆様と、水戸市を訪問される意向と伺っております。その際にはぜひ、より一層のおもてなしの心を持ってお迎えしたいと思います。

アナハイム市親善訪問に参加して

秋山　恒典

台風19号の影響を受け、水戸市も那珂川が氾濫し多くの家屋が浸水するなどの被害が出た中での親善訪問となりました。

市長をはじめ市議会議員の皆様は災害復旧に向けた対応のため不参加になりましたが、行政に災害復旧作業は任せて頂き、姉妹都市の友好の親善訪問の使命を無事果して欲しいとの激励を受け水戸を出発しました。

ロサンゼルス空港の入国手続きに多くの時間がかかりましたが、アメリカの大地を踏むことが出来ました。

ロサンゼルスの市内視察、マリーナデルレイ（一万艇以上のヨットが停泊する世界一のヨットハーバーとリゾートマンション）、サンタモニカ・ビバリーヒルズ（高級住宅街でありバスなどの車が通行出来ない）、コダック・シアター（アカデミーの受賞式会場）、チャイナシアターを見学しました。整然と区画され美しい街並を実感しました。

ゲティ美術館は丘の高台に位置し美術館自体芸術品のように美しく、展示室に入ると中世から現代までの西洋絵画の展示品を観て回りました。観賞出来たのは展示された一部の作品だけでしたがどれも素晴らしいものばかりです。

ファーマーズマーケットに移動し、ランチです。（メキシコ料理のシェラスコを食べましたが、量の多さに驚きました。）マーケットは広大であらゆる食材が揃っており、また農産物の豊かさを実感しました。

シタデルアウトレット・ウォルマートの見学と買い物、スケールの大きさと、雑貨等は量が多く価格は安く驚くばかりです。

自由行動の日は早朝からタクシーを利用し、アナハイムヒルズにてゴルフを堪能しました。砂漠地帯に造られておりますが、スタートの時芝生が濡れていたので雨が降っていたのかと思うほど沢山の水をまいて芝や木々を維持しています。ゴルフ場は高齢の方が多く、レストランでは婦人たちがカードゲームを行っており、平日でもありリタイヤした方々の楽しみの倶楽部のようでした。

アナハイム市の日本庭園に設置された幡谷名誉市長の名盤に参り記念撮影の後、市長室で表敬訪問を行い、インド系で初めての市長となったセデュー氏からアナハイムの紹介と水戸に一度訪問しているとの挨拶を受け、阿部団長の挨拶と団員の自己紹介を行ってから、１階ロビーに展示する雛人形の贈呈式を行いました。

小学校の授業を見学、コンピューターを活用した学習はＰＣ室での学習と考えていましたが、全ての教室の授業で活用されていました。ノートに書き写すことはせず、ＰＣに質問の回答を投入していますし、低学年でも撮影し作品を作成するなど活用しており、教材のアイテムになっています。

また、理解不足に対応する少人数のカリキュラムもあり、希望すれば特化した授業が受けられるとのこと。個人の特性に合った教育を行っており、画一的な方法でなく能力を伸ばすために柔軟に考えていることがうかがえます。

高校の訪問では、校内にも日本語の貼り紙が多くあり、日本語を専攻している学生から日本語で挨拶を受け、歓迎されている事を実感しました。校内に銀行がありインターンシップとして働き銀行業務の資格を取ることも出来る様になっています。

水資源の活用のため、コンパクトな下水処理施設を開発し街路樹への散水・公園への散水に利用しているとのこと。この地域は、降水が少なくコロラド川から取水しているとのことですが不足しがちであり、有効に活用すべくコンパクトな下水処理施設を活用しています。(水不足のため水の有効活用は多くの地域で求められていることから、この技術が拡がる事を期待しています。)

コンベンションセンターでは年間150回以上のイベントが開催され、参加者はホテル(ヒルトン・シェラトン・ハイアット・ディズニーホテル等162軒)への宿泊、ショッピング、レストラン、ディズニーランドなどの施設に連携され経済効果に大きく寄与しているとのこと。(水戸市が計画している市民会館も地域の活性化に繋がることを期待しています。)

最後になりますが、アナハイム市親善訪問に参加してアメリカ文化・行政を学び体験することが出来たことは大変有意義でした。阿部団長をはじめ、訪問団員の皆様、準備段階から尽力下さった水戸市国際交流協会の皆様に感謝申し上げます。

親善訪問という宝物 ～第33回アナハイム親善訪問団に参加して～

宇田　順子

アナハイム市役所

参加したきっかけは、水戸市のフェイスブックに掲載された「姉妹都市アナハイム市への親善訪問団の団員募集」に応募したことでした。以前からアナハイム市が姉妹都市であることは知っていましたが、どのような都市であるか具体的には全く知りませんでした。

実際にアナハイム市を訪れてみて、気候の違いだけでなく教育や文化・商業施設の大きな違いに驚きました。

アナハイム市は、砂漠の中に人工的に水を引いて植物が育つ環境が作られているそうです。下水をろ過して、市役所の飲み水以外をすべて賄うリサイクルシステムを見学し、水資源の確保に取り組む行政の真剣な姿勢を感じたとともに、水の豊かな水戸のありがたさを感じました。

BETSY ROSS 小学校訪問

また、小学校高学年の子供たちの活動発表の中では「困っている友だちの手助け」をするクラブが多く紹介されていました。人種の異なる子供たちが学ぶ教育環境の中で、お互いに助け合う教育が実践されていることが感じ取れました。

高校では日本語の授業を見学しました。アメリカの若者が日本のアニメーションに興味を持ち、日本語を第二外国語に選んでいるそうです。

アナハイムバレエ団

アナハイムバレエ団では、宮崎駿の映画音楽に合わせて踊るバレエを披露していただきました。バレエ団の温かいもてなしに、旅の疲れが和みました。

市議会に参加させていただき、市民の前で私たち訪問団が紹介された時はとても緊張しました。夕方から行われる市議会の開始宣言が10歳ぐらいの女の子であったことがとても新鮮で、議員と市民が身近な存在であることが感じられました。

アナハイム市のコンベンションセンターはとてつもなく大きい建物で、世界から催し物を見に集まってくるということでした。

親善訪問でしか得られないような様々な体験を通して、インターネットやテレビの報道では知ることができなかった多くのことを学ぶことができました。

このような訪問団の交流が40年余続いていることは水戸市民の宝物です。この体験を是非水戸市の発展につなげていけたらと思います。

アナハイム市親善訪問団に参加して

加藤　啓進

今回の訪問団には、阿部国際交流協会理事長さんの、お薦めで参加させて戴きました。

水戸市とアナハイムが友好都市の交流をしていることは知ってはいましたが、実際40年を越える交流の実績を現地で見聞し、認識を新たにするツアーでした。

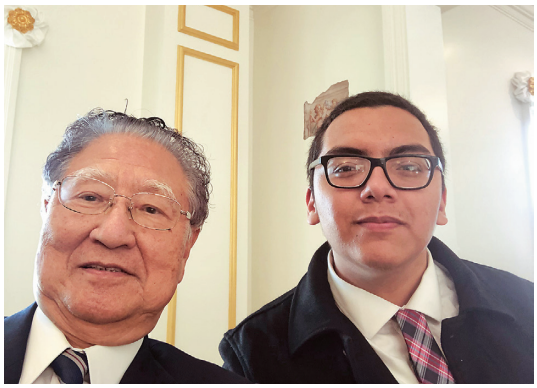
友好親善訪問で特に印象に残ったことを報告させていただきます。

米国入りをしたロサンゼルスにて、1917年公開のアメリカ映画「ゲティ家の身代金」で話題の世界一の大富豪と云われたジャン・ポール・ゲティが資産の限りを美術品の収集に費やして設立した「ゲティ美術館」を鑑賞しました。美術館まで専用トラムで移動し、小高い山頂にある見晴らしの良い広々としたところに展示施設がありましたが、膨大な美術品の鑑賞、トラムと、どれも料金もなしには驚きました。

アイリス前

そして、ゴッホの名画「アイリス」の前での記念写真を撮ることができラッキーでした。

アナハイム市に移動し、アナハイムの新しいセデュー市長さんは、気さくで素晴らしい人でした。



ブライアンと

祐月の和田さんも念願の新しい雛人形の贈呈式も終わり、ほっとしたことでしょう、親子三人での大きな荷物をご苦労様でした。

アナハイムを移動中同行してくれた、ブライアン君が、たまたまアナハイム市の関係者との昼食会の時、隣に同席し、今年６月に水戸市千波町にホームステイをしたとのことで、ホームステイ先のお父さんにと、お土産を頼まれ、先日届けることが出来、国際親善の一端を果たすことが出来ました。

アナハイムバレエ団の演技を観賞、時間調整後、夕方5時からのアナハイム市議会の傍聴には沢山の市民で傍聴席は満席で、関心の高さがうかがわれました。私ども訪問団の紹介があり、傍聴席からの拍手がありました。市議会議員は地域代表の６名で、それぞれ職業を持って、仕事の傍ら地域発展に尽力しているとのことです。

可愛い子供たちの歓迎で始まったBETSY ROSS小学校の参観では、一年生の授業の一環としてアニメーション制作をしているのを見て驚かされました。

アニメーション

今回の訪問団は出発間近の台風被害対応のため急遽、市長、市議会関係全員の欠席は残念でしたが、和気あいあいの参加団員によりアナハイムとの友好の目的が達成できたことと思います。

アナハイム市親善訪問団に参加して

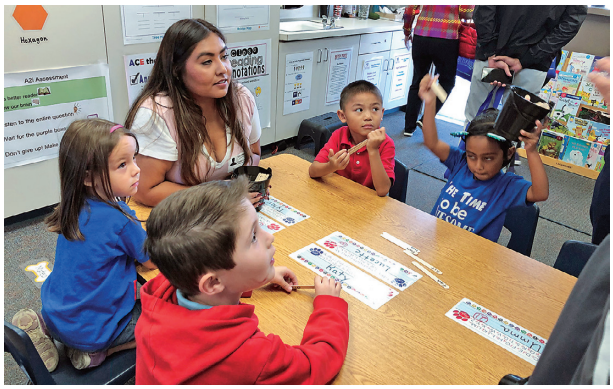
加藤　紀子

水戸市とアナハイム市が親善姉妹都市であることは知っておりましたが、訪れる機会もありませんでした。このたび団長さんのお勧めもあり、参加させていただきました。成田から11時間余り長いフライトでしたが全員元気に到着致しました。

カリフォルニアの青い空、涼しい風、日本の夏とは全然違う気候が心まで楽しい気分にさせてくれました。

翌日、広大な山の中腹にあるゲティ美術館へモノレールに乗り、見学に行きました、ゲティさんには色々逸話もあるそうですが、個人的にこれだけ貴重な美術品を収集され、後世に残したことは素晴らしい業績だったと思います。そしてゴッホの「アイリス」を見られた事に感激致しました。

アナハイムに入りましてからは、市長表敬訪問の後、BETSY ROSS小学校を見学、幼稚園から小学５年生までの授業を見せていただきました。生徒全員で素晴らしい歓迎をしてくれました。日本と違い小グループに分かれ、年齢も上の子も下の子も一緒に自由に楽しそうに先生にアドバイスをもらいながら、パソコン等を使用し学習していました。また、別のテーブルでは先生と生徒が１対１で指導している様子も印象的でした。



その後、LOARA高校で日本語を学ぶ生徒さん達と交流しました。

その日の授業はまず聞く話す事でした。日本の子供達にも、このように楽しそうなカリキュラムがあると良いなと思いました。

アメリカには色々な国からの人々、経済的な格差、学力も一律ではないと聞きましたが、どんな人種であろうと、個人の能力・変化に対応する生徒中心に授業が進められているそうです。化学、地学、エンジニアリング・テクノロジーや数学を楽しく、その他にも美術や音楽にも力を注いでいる様子でした。その様な環境の中で子供たちはのびのびと、将来に向けて頑張っている様に感じました。

アナハイム市親善訪問団に参加して！

野田 弘行

令和元年10月18日～10月25日までカリフォルニア州ロサンゼルス市郊外のアナハイム市を訪問しました。ハワイには観光でも６回行きましたが、アメリカ本土へは初めての経験でした。

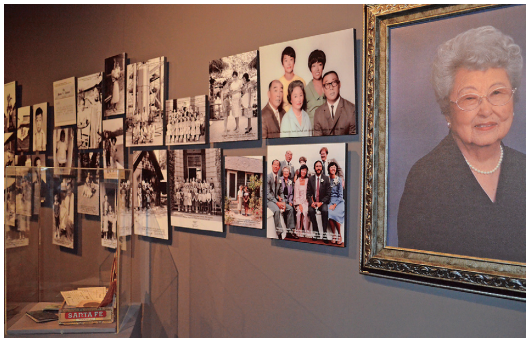
当初は市長、議長、市議会議員も参加予定でしたが、10月12日の台風19号による水戸市の水害のため市長・議長・市議会議員全員の不参加により、水戸市民とスタッフのみの訪問となりました。

帰国した10月25日は千葉県が大雨で成田空港に到着したものの交通機関が普通・高速道路も通行止めと、空港で一夜を過ごすのかと覚悟しましたが、２時間程でバスが到着したので、予定より遅れましたが、無事に水戸市役所に戻りました。

１．日本とアメリカとの文化・サービスの違い

（１）ホテルに到着して洗面台を見たら歯ブラシ・カミソリがありません。フロントに言いましたら、購入しろと言われました。

（２）部屋のバスタブの天井から上の階のバスタブの水が落下してきました。運よくバスタブの上だったので、洗面所全体が水浸しにはなりませんでした。フロントに事情を報告すると修理工が応急措置のみでホテル側からのコメントは何もありませんでした。



２．日系アメリカ人のI am an American宣言

1941年12月８日の日本軍の真珠湾攻撃によって日米戦争が始まりました。日系人は「敵性外国人」と呼ばれ、1942年２月19日ルーズベルト大統領の「大統領令9066号」によってカリフォルニア・アリゾナ・ワイオミング州その他に収容所が設置され、日系人12万人余が強制的に収容されました。そのような状況下で軍隊に志願する日系人が多数おり、ハワイ島では第100歩兵大隊と呼ばれました。その後第442連隊戦闘団に編入され（士官以外は日系アメリカ人）、ヨーロッパ戦線に投入され、枢軸国相手に勇戦敢闘し、死傷者9486人を出しました。アメリカ合衆国史上もっとも多く勲章を受けた部隊として有名になりました。

３．公式謝罪と賠償金

1988年８月10日レーガン大統領は市民自由法に署名し、公式謝罪と12万人を監禁した強制収容所の存命者全員に２万ドルの支払いを承認しました。1990年10月最初の賠償金が強制収容所の最も老齢の生存者に支払われました。

過去の過ちを認め、謝罪と賠償金を支払うところにアメリカ合衆国の偉大さを感じました。

第33回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問に参加して

村島　俊太

今回、行政視察団の一員として参加できたことにとても光栄に思います。
アメリカ本土へ渡り文化や風習、地域性を体験した事をご報告いたします。

○テロ対策への危機管理の徹底

まずロサンゼルス空港では入国の際には厳重なチェックで入国手続きに２時間を要しました。昨今の情勢や2028年オリンピック開催も予定されており、アメリカもテロ対策に対しての危機管理の徹底を感じました。ディズニーリゾートでも入場のチェックは東京ディズニーリゾートより厳しく、顔認証システムがあり再入場の確認をするのに驚きました。出国の際も犬の臭覚検査もあり緊張感がありましたが、入国よりはスムーズに手続きが完了しました。

○映画の聖地へ

ロサンゼルス空港からバスに乗り移動しハリウッドへ向かいました。
サンタモニカ湾やビバリーヒルズを通過しながらハリウッドに入り、ガイドさんからの説明を受けながらアカデミー賞の階段や入口、ハリウッドの山などを観賞しました。また、大物男優や女優の手形などの石板歩道を歩きながらハロウィン一色のハリウッドの町を散歩し、夕飯はアメリカンサイズ320グラムのニューヨークステーキを食し、１日目の日程を終えホテルへ向かいました。

○ゲティ美術館

２日目最初は、入館料が無料のゲティ美術館に向かいました。バスの中でガイドさんからゲティの波乱万丈な生涯の説明を聞きながら現地に到着しました。ケーブルカーで山を登り、山頂に美術館があり、無料とは思えない素晴らしい建築物や庭園、石積みなどがあり、１時間ほどゴッホの絵などを鑑賞しました。

○環境について

アナハイム市役所に隣接した水の浄化施設の説明を受けました。アナハイム市は雨も少ない地域で、水は貴重な資源のひとつです。下水や雨水を浄化し市役所のトイレ、庭、歩道の清掃に使用し水の再利用をしているそうです。今回の施設はアナハイム市内の約１％程度の下水を利用しているそうですが、今後の拡大が期待できるよう感じました。
また、ディズニーリゾートでもお土産の袋も小分けの袋は配らなかったり、お菓子の入れ物が東京では缶が主流ですが、アメリカでは箱の包装しかありませんでした。
日本でも環境対策はしていますが、アメリカでも力を入れているように感じました。

○アナハイム市役所訪問

市役所へ到着し、市役所の入り口前のミトスクエアに寄ると水戸橋や歴代の水戸市長や茨城の著名人の名前が刻んであり、水戸との交流の深さを認識させられました。

市長室へ招かれ市長からの挨拶の後、団員からの自己紹介をしていただきたいと申し出があり、団員みんなで自己紹介させていただきました。また、団員である和田さんからは16年ぶりに雛人形を贈呈され、金色に輝く雛人形が市役所玄関口に飾られ、市長との記念撮影をしました。昼食は「ホワイトハウス」というレストランで、市長をはじめ友好大使の方も同席し会話をしながら食事を楽しむことが出来ました。帰りの際にはたくさんのお土産を頂き、おもてなしを受けることが出来ました。夕方に開催される市議会でも、開会の際に団員みんなで議場へ上がり、紹介された貴重な経験もすることが出来ました。

○学校訪問

ベッツィー・ロス小学校へ行き、生徒からの合唱での歓迎を受けました。

水戸での小学校での授業とは違い、先生と生徒の距離感を感じないと思いました。授業方法も子供たちの興味が湧くような教え方で、小さい子供がいる私個人として勉強になりました。

その後、ロアラ高校へ行き校長先生からの学校説明を受けた際に、子供たちの様々な夢を応援するような学校スタイルに驚きました。スポーツから様々な職種に対してのカリキュラムがあり、日本語の授業にも参観させて頂きまして、日本語を学ぶたくさんの生徒がいたことに驚きました。また、薬物撲滅活動中で日本の高校でこのような活動はないかと思いますが、世界中で薬物使用が広がっていることに恐怖を感じます。

○コンベンションセンター

宿泊先から徒歩で行けるアナハイム市のコンベンションセンターへ行きました。

年間150回以上のイベントを開催していて、空いている日がないほど利用されているそうです。隣接するアリーナでは、企業の会議やプレゼンだったり、バレーボールの国際試合などにも利用されるそうです。水戸にも同じような施設が出来ればと思いました。

○エンゼルスタジアム

今回は普段では入れないオーナー室やVIP観覧席などを見学しました。

日本のスタジアムでも見れないエリアをアナハイムで見ることができ感激しました。

お土産コーナーでは大谷選手の商品が多く、エンゼルスでの活躍度合いが大きいのだなと非常に感じました。

５泊７日の短い期間を共にした団員に感謝すると共に、今回の貴重な経験を今後の糧にしていきたいと思います。

令和元年度国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問及びアメリカ文化・行政視察を終えて

横須賀 あい子

先ずは、令和元年という歴史的節目に視察団の一員として団長の水戸市国際交流協会の阿部理事長をはじめ参加者の皆様と有意義な時間を過ごせた事に感謝申し上げます。

６日間の訪問の中で沢山の感動や新しい発見、そしてアメリカ食の喜びなど語り尽くせない事ばかりでありますが、印象に残った事を挙げさせていただきたいと思います。

水戸市と姉妹都市であるアナハイム市に着きアナハイム市長表敬訪問の際、庁舎市長室からは市内を見渡す事ができました。何と、美しく統一感のある街並みなのでしょう。比較的低層の建物が多く、大自然に囲まれた中に遊び心あるカリフォルニアディズニーランド・リゾートも見え、景観の素晴らしさに感動いたしました。その時のアナハイム市長の話の中から、この市の歴史や文化に誇りを持ち、市民がそれらを大事にしているが故にこのような街並みができている事を理解しました。それに加えて何処に伺っても手厚い温かいおもてなしがあり、更に感動を覚えました。

市議会見学の前には、ANAHEIM BALLET団のバレエ鑑賞をさせていただきました。優雅な踊りの中で、昔バレエを踊っていた私に通じる何かを感じました。芸術の中での踊りの会話です。我々は言葉が通じなくてもバレエという踊りの中で心が通じ合い会話できると、バレエ団代表がおっしゃっていました。まさに国際交流の原点であると私は感じました。大切な事は、ハートとハートがつながる事だと考えます。日本でバレエを習う２人の娘達も、このように世界という大舞台で言葉だけでなく心を通わせグローバルにはばたいて欲しいと思わせてくれた日でした。

他にも市内の小学校や高校を訪問しました。授業の様子を見学させていただきましたが、どの学生も言語というものに対して真剣にそして楽しんで学ぼうとしている姿に驚きました。

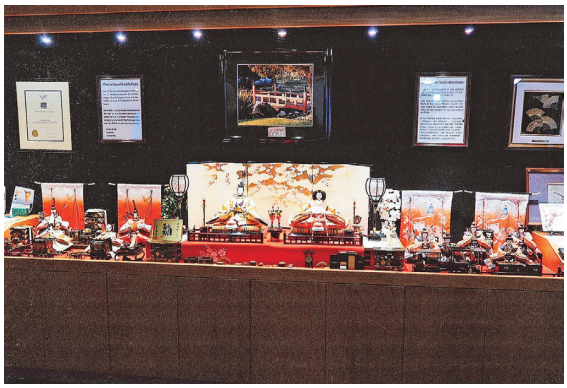
そして、私にとってハードスケジュールな６日間を元気に過ごせたパワーの源は、毎日の食事でした。「郷に入れば郷にしたがえ」で、思いきりアメリカの食事を楽しみました。日頃は子育てや仕事で自分の為にゆっくり食事を楽しむ時間が少ない日々です。ですから、市場に行ったら現地でしか見られないフルーツや野菜などを色々試してみました。何といってもアメリカではやはり肉を沢山食べる事に気合を入れ、ほぼ毎日ビッグサイズの肉をいただいておりましたが、不思議と飽きてしまう事はなかったのです。

お腹も心も満たされ有意義な日を過ごす事ができたアナハイム市、色々な形でこれからも水戸市とつながり続けて欲しいと思います。次回は、我が子達が学生親善大使として、アナハイム市に訪問することを期待して。

第33回国際親善姉妹都市アナハイム市訪問に参加して

和田　祐之介

アナハイム市訪問は今回で３回目となります。１回目は1982年水戸市の文化使節団としてディズニーランドのジャパンフェスティバルの時、２回目は2003年第１回のひな人形プレゼントの時、そして３回目は今回です。



今回の目的の一つは、16年前にプレゼントした人形が古くなったので新しい人形と取り換えるためでありました。

再会したひな人形は、16年振りにも拘らずとても綺麗に保存展示されていました。アナハイム市の人々の優しさが伝わってきました。

市長表敬訪問後、ひな人形を展示し終わりアナハイム市長と握手しお話をしましたが、市長さんから「この着物の装束は天皇陛下と同じですか？」と質問されましたので、様式は同じですが柄が違いますと答えました。おりしも日本では天皇陛下即位の礼が行われており、関心が高かったように思われます。

昼食会、そして夕刻アナハイム市の議会が開催され傍聴し（議会は毎週火曜日の夕方開催）、我々訪問団のことや、人形のプレゼントのことも報告されました。

市議会議員は６名、人口34万人の割には非常に少なく、市長は市議会議員の中から選ばれるそうです。

次の日は昼食後、市の博物館を見学、何度か水戸に来られたことのあるパティ・ヒラハラさんという方のコレクションの特別展が開催されておりました。

“I am an American”というテーマで太平洋戦争の日本人収容所などが展示されておりました。アナハイムでもこういう施設があったとは知りませんでした。

水戸でも資料をお借りして展示してはどうかなと思いました。

今回の親善使節団の訪問内容はバラエティーに富んでおり、内容も濃く有益であったと感じました。成田に着いたら、豪雨の影響で交通が止まっており、夜中になり無事帰水いたしました。

訪問取りやめされた市長さんはじめ市議会議員の方々、我々の留守中大変お疲れさまでした。

アナハイム市親善プログラムに参加して

和田　由美子

10月22日、この日アナハイム市庁舎では、友好の印として16年前に贈られた雛人形が水戸に里帰りすることが決まり、新しい雛人形の贈呈式が行われました。日本で天皇陛下の即位礼正殿の儀が行われた日に、姉妹都市のアナハイムで宮廷を表現している新しい雛人形を贈呈できたことは憚りながらも光栄に思い、市庁舎のロビーに展示された雛人形をアナハイム市の皆さんが観覧する様子に触れながら、40数年に渡る両市の交流の深さに感動いたしました。

贈呈式に先立って市長室にアナハイム市長を表敬訪問した際は、一人ひとり水戸からの訪問を歓迎していただきました。

視察に訪れたBetsy Ross小学校では、低学年のお子さんたちの歌によるかわいらしい歓迎を受けた後高学年の活動報告があり、リーダーシップと高齢者や弱い立場の人たちの手助けに重点を置いていることに感心しました。

次に訪れたLoara高校では熱心に日本語を学んでいる生徒さんと一緒に校内見学をしましたが、高校内に生徒が窓口業務を行う銀行があり、社会人になるための勉強を学校でできることは大変ユニークなインターンシップだと思いました。また、校内にあるお店ではLoara High Schoolの名前が入った文具や帽子、卒業年がプリントされたTシャツ等が多数あり、生徒が母校への誇りを持っていることを感じました。

アナハイムでは視察先やレストランで会う人達は皆温かく友好的で、観光地としても魅力を感じることができ、この度の滞在は有意義な時間となりました。

最後に、団長はじめ団員の皆様並びに交流協会の職員の方々には大変お世話になりありがとうございました。また、長年に渡り水戸市とアナハイム市の親善交流を続けてこられた方々の貢献に感謝するとともに、今後も姉妹都市の友好が継続することを願っております。

第33回アナハイム市親善訪問団に参加して

和田　幾久郎

この度、第33回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問及びアメリカ文化・行政視察団に参加させて頂き、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

今回参加させて頂いた大きな目的としましては、両市の友好の印として雛人形を寄贈する事です。16年前に寄贈させていただいた雛人形は、当時の姿そのままに市庁舎のエントランスにあるガラスケースの中に綺麗に展示されていました。大事にして頂いていたことにとても感謝の念を持ちました。雛人形を飾り終え贈呈式を挙行して頂き、無事引き渡す事が出来ました。これからも日本の伝統文化の象徴として、日本に対する理解の一助になれば大変ありがたいと思います。

歓迎レセプションの昼食会では、大勢の国際交流にご尽力頂いている方々の温かい歓迎を受けて、直接交流を深める事が出来ました。この様な関係は、長年多くの先人たちが親善活動を積み上げて来た賜物だと肌で感じることが出来ました。

議会は火曜日の夕方に開かれるそうですが、多くの市民が傍聴に訪れていて、その感心の高さに驚かされました。議会冒頭で我々親善訪問団が紹介され大きな歓迎を受けました。

アナハイム市はディズニーランドを有するだけではなく、全米でも有数の規模のコンベンションセンターやMLBやNHLのチームが有り、観光産業が発達しています。常に観光客で賑わっており、とても大きなパワーを感じました。水戸市とはまた違った機能を備えた街ではありますが学ぶ点は多いと思いますので、今後益々友好関係の絆を深めて様々な分野での交流が活発になることを祈念致します。

資料編

エンゼルスタジアム

国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

（令和１年11月現在）

～国際親善姉妹都市盟約締結までの経緯～

水戸市とアナハイム市との交流は、昭和49年（1974）アナハイム市在住の水戸市出身の実業家が、中学時代の恩師をアナハイム市に招待したことに始まる。

その後、アナハイム市のキワニスクラブの会員を中心とするグループと、幡谷祐一氏を中心として組織された茨城県国際文化交流協会の会員とによる活動が実を結び、教育視察団の派遣やアナハイム市のビル・ソーム市長を団長とする使節団の来水などを経て、アメリカ合衆国建国200年祭に当たる昭和51年（1976）12月21日、両市は「国際親善姉妹都市」盟約の締結に至った。

～水戸・アナハイム　交流の足跡～

姉妹都市となった両市は、親善友好関係を深めるため、様々な交流活動を重ね今日に至っている。その交流は、定期的な相互訪問を中心に、様々な主体、多様な内容で展開されている。

（相互訪問）

○水戸市使節団の派遣

水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和51年（1976）の姉妹都市調印式使節団派遣を第１回として、これまで33回行われ、延べ952人がアナハイム市を訪問している。

○アナハイム市使節団の来水

アナハイム市使節団の来水は昭和51年（1976）を第１回として、これまで19回あり、延べ419人が水戸市を訪問している。また、平成25（2013）年８月には、アナハイム市より特使１名（Mark Lopez氏）が来水した。

○水戸市学生親善大使の派遣

水戸市学生親善大使のアナハイム市への派遣は、昭和63年（1988）の第１回以来、これまで29回実施され、合計506人（学生457人）がアナハイム市を訪問している。（R1.5月現在）

○アナハイム市学生親善大使の来水

アナハイム市学生親善大使の来水は、昭和60年（1985）の第１回以来、これまで30回実施され、合計126人（学生110人）が水戸市を訪問している。

（モニュメント）

○「水戸橋」（アナハイム市）

姉妹都市盟約締結を記念して、アナハイム市は「水戸橋」を建設し、昭和52年（1977）に、その渡り初めが行われた。

○「アナハイム通り」（水戸市）

昭和58年（1983）、水戸市総合運動公園沿いの市道が「アナハイム通り（Anaheim Way）」と命名され、記念碑の除幕に続き、「アメリカハナミズキ」の記念植樹が行われた。

○「ミト・スクエア」（アナハイム市）

姉妹都市10周年を記念して、昭和61年（1986）、アナハイム市庁舎前に「ミト・スクエア」が建設された。

○「であい像」（水戸市）

姉妹都市15周年を記念して、平成3年（1991）、水戸総合運動公園内に「であい像」が建立された。

○「アナハイム橋」（水戸市）

姉妹都市30周年を記念して、平成18年（2006）、千波公園内に「アナハイム橋」及び記念碑が建立された。

○「ミト通り」（アナハイム市）

姉妹都市40周年を記念して、平成28年（2016）、アナハイム市内の市道が「ミト通り（Mito Way）」と命名された。

○「MITOインターナショナルライブラリー」（水戸市）

姉妹都市40周年を記念して、平成28年（2016）、国際親善姉妹都市盟約締結40周年記念事業実行委員会により、水戸市国際交流センター敷地内に「MITOインターナショナルライブラリー」が建設され、水戸市に寄贈された。

（功労者への表彰）

○アナハイム市からの表彰

両市の友好親善に尽力したとして、昭和54年（1979）、和田祐之介市長が「アナハイム市名誉市民」の称号を授与された。また、昭和57年（1982）には、幡谷祐一国際親善都市交流促進協議会会長が「No.1フレンド賞」を受賞した。幡谷氏は、昭和63年（1988）には「アナハイム市名誉市長」にも認定されている。

○水戸市からの表彰

両市の友好親善に尽力したとして、平成18年（2006）、財団法人水戸市国際交流協会、アナハイム市姉妹都市協会、チエコ・デューティー氏が表彰された。

（その他の交流）

○石川小学校とサンキスト小学校の姉妹校の提携

昭和54年（1979）、両校は姉妹校を提携し、絵画作品や手紙の交換などをして交流を深めている。

○ミッキーマウス６０歳記念祭への出席

昭和63年（1988）、ミッキーマウスの60歳記念祭に水戸市の児童11人が招待され、世界中の子供たちと親善を深めた。

○児童絵画展

平成18年（2006）、姉妹都市30周年を記念して、市内の幼稚園、小・中学校、特殊教育諸学校及びアナハイム市サンキスト小学校の児童生徒による絵画展が開催された。

○アナハイムフェスティバル

平成18年（2006）、姉妹都市30周年を記念して、交流の歴史、アナハイム市の紹介等を中心としたイベントが水戸市国際交流センターにおいて開催された。

○国際姉妹都市交流シンポジウム

平成21年（2009）、水戸市市制施行120周年を記念して、水戸市・アナハイム市・重慶市の関係者を迎え、これからの姉妹都市交流のありかたについてディスカッションが行われた。

また、シンポジウムに合わせ、姉妹都市の紹介などを中心とした交流の歴史パネル展が水戸市国際交流センターにおいて開催された。

○アナハイム市との教育交流事業

平成21年（2009）以降、毎年、英語指導助手のアナハイム市からの受入（採用）に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整、協議を行っている。

○「ガンバレ！ MITO ！～アナハイムからの応援メッセージ展～」

平成23年（2011）、過去に水戸市を訪れたアナハイム市学生親善大使の呼びかけにより、東日本大震災の被害を受けた水戸市へ励ましの手紙を贈るキャンペーンが行われ、アナハイム市民より寄せられた3,275通の手紙を市内の幼稚園や小中学校へ届けるとともに、水戸市国際交流センターにおいて展示した。

○第7回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞

平成25年（2013）、長年の姉妹都市交流が草の根レベルで浸透していることなどが評価され、総務省と財団法人自治体国際化協会が主催する「第7回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）」を受賞した。

○幡谷祐一アナハイム市名誉市長就任25周年記念銘板献呈

平成26年（2014）、幡谷祐一アナハイム市名誉市長就任25周年を記念し、アナハイム市庁舎前の水戸スクエア内に銘板が設置され、両市の関係者が出席するなか、銘板献呈及び除幕式が執り行われた。

○日米親善ジャズコンサート

平成29年（2017）、姉妹都市40周年を記念して、米国空軍太平洋音楽隊「パシフィック・ショーケース」を招き，水戸芸術館において日米親善ジャズコンサートが開催された。

（出版物）

○「アナハイムにかける橋」の発刊（茨城県国際文化交流協会（代表：幡谷祐一）著）

教育視察団の視察成果をまとめたものが昭和51年（1976）に刊行された。

○「アナハイムへの道」の発刊（和田祐之介、茨城県国際文化交流協会著）

盟約締結までの経緯をまとめたものが昭和53年（1978）に刊行された。

○「20年のあゆみ」の発行

姉妹都市20周年を記念し、20年間の交流事業をまとめた記念誌が平成9年（1997）に発行された。

○「友情の懸け橋」の発行

姉妹都市30周年を記念し、30年間の交流事業をまとめた記念誌が平成19年（2007）に発行された。

○「姉妹（シスターシティ）の絆の物語」の発行

姉妹都市40周年を記念し、40年間の交流事業をまとめた記念誌が平成29年（2017）に発行された。

― 両市のプロフィール ―

	水戸市	アナハイム市
人　　口	269,874人 （2019年11月現在）	352,005人 （2018年現在）
面　　積	217.43㎢	130.7㎢
緯　　度	北緯36度21分57秒	北緯33度50分10秒
経　　度	東経140度28分17秒	西経117度53分23秒
気　　候	平均気温：摂氏14.1℃ 年間降水量：1,498.5mm 温暖湿潤気候	平均気温：摂氏21℃ 年間降水量：249㎜ 地中海性気候
市の花	ハギ	キンセンカ（Calendula）
市の木	梅	マグノリア（Magnolia）
市制施行	1889年（明治22年）	1857年

国際親善姉妹都市盟約書

水戸市とアナハイム市は、文教の府として、また人口商業面で類似した都市である。

両市は、政治経済、教育文化の交流により相互の理解と友情を深め、両都市の飛躍的発展に寄与することを目的として、ここに国際親善姉妹都市の盟約を結び両市の繁栄と親善関係を永く継続するために相互に努力することを誓い調印する。

1976．12．21．

水戸市長　和田拓三郎　　アナハイム市長

水戸市議会議長　木村　實　　アナハイム市議会代表

令和元年度 第33回国際親善姉妹都市アナハイム市
親善訪問及びアメリカ文化･行政視察団
募　　集　　要　　項

１　**目　　的**　　国際交流推進事業の一環として，国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ訪問団を派遣し，親善プログラムを通して相互理解と友好親善を深めるとともに，両市民間の交流を促進する。

２　**主　　催**　公益財団法人水戸市国際交流協会

３　**期　　間**　令和元年 10 月 18 日(金)～10 月 25 日(金) （8 日間）

４　**訪 問 先**　カリフォルニア州アナハイム市及びその近郊

５　**派遣人員**　30 人（うち一般市民は 20 人，先着順）

６　**主な活動**
- アナハイム市とその近郊の文化･行政視察並びに施設見学
- アナハイム市，姉妹都市委員会への表敬訪問及び歓迎行事等参加
- 市民間の交流活動など

７　**事前研修**　9 月 18 日（水）18：30～
(結団式)　水戸市国際交流センターにて（渡航説明会を含む）

８　**事後研修**　11 月 13 日（水）18：30～
(解団式)　水戸市国際交流センターにて

９　**応募資格**
(1) 本人または家族が，応募時点で水戸市に居住している方（その他協会が必要と認める方）
(2) 国際交流に関心を持ち，友好親善に努めたい方
(3) 健康で協調性に富み，実施計画に従って規律ある団体行動ができる方
(4) 事前･事後研修を含めて全日程参加できる方
(5) 帰国後もこの経験を生かし，本市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加できる方

10　**旅行取扱**　本事業における旅行部分については，当協会と取扱旅行会社の受注型企画旅行契約により実施します。

11　**応募方法**　（1）必要書類　・参加申込書
・証明写真（パスポートサイズ 4.5×3.5cm）
・パスポートのコピー（A4 サイズ）※ある方のみ

（2）申込期間　**7 月 25 日（木）～ 8 月 15 日（木）**

所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ，上記期間内に，水戸市国際交流協会まで持参又は郵送で，お申込みください(FAX 不可)。期間内でも定員になり次第，締め切ります。なお，参加申込書は当協会ホームページからもダウンロードできます。**※郵送の場合は必着**

【申込先】水戸市国際交流協会
〒310-0024 水戸市備前町 6-59　水戸市国際交流センター内
（午前 9 時～午後 9 時）※毎週月曜日,7/16(火),8/11(日),8/13(火)は休館
電話：029-221-1800　ホームページ：https://www.mitoic.or.jp

12　**参加費用**　約 350,000 円　(うち 50,000 円を協会が補助します)
※最終参加人数により，費用が多少変動する場合がございます。

・**参加費用に含まれる主なもの**
航空運賃(エコノミークラス)及びバスなどの運賃料金，観光料金，宿泊料金，日程記載の食事料金，空港税，燃油サーチャージなど

・**参加費用に含まれない主なもの**
渡航手続関係諸費用，オプショナルツアー代金，個人的性質の諸費用，超過手荷物運搬料金，一人部屋追加料金(60,000 円)，ビジネスクラス追加料金(366,000 円※)，海外旅行保険(個人用任意保険)など
※ビジネスクラスの料金については申込み時期によって異なります。詳細については，お問合わせください。

・**部屋割りについて**
お一人でのお申し込みで相部屋希望の方は，調整が付けば相部屋となりますが，できない場合はシングル利用となり，追加代金(60,000 円)をいただきます。

13　**派遣者の取消し**　・派遣決定後であっても，応募資格の虚偽報告及び不適格と認められる行為や事実があった場合は資格を取り消すことがあります。その際に発生するキャンセル料は本人負担となります。
・出発後の取り消しは団長が行います。その際の損害賠償等の責任は，取り消された本人が負うこととなります。

14　**取 消 料**　9 月 18 日(水)以降の取消しについては，旅行業約款に基づき，該当者に取消し料が発生します。（9 月 18 日以降は旅行代金の 20%，10 月 16 日以降は 50%，旅行開始後は全額）

15　**そ の 他**

- 申込書に記入された個人情報(氏名,住所,電話番号など)は，本事業における運送・宿泊機関等の予約手続き及び申込者との連絡等に限り利用させていただきます。
- 未成年者は，保護者同伴の場合のみご参加いただけます。
- 本事業は，参加者の安全を最優先としますので，今後の国際情勢によっては，参加決定後でも変更または中止する場合があります。

16　**お問合せ先**

◆本事業に関すること

公益財団法人水戸市国際交流協会（開館時間：午前 9 時～午後 9 時）

※毎週月曜日休館（月曜日が祝日の場合は翌平日も休館）

〒310-0024　水戸市備前町 6-59　水戸市国際交流センター内

TEL：029-221-1800　URL：https://www.mitoic.or.jp

◆旅行取扱に関すること

株式会社 JTB 水戸支店（観光庁長官登録旅行業第 64 号）

〒310-0803　水戸市城南 1-1-6　サザン水戸ビル 2F

TEL：029-225-5233　FAX：029-226-4017

アメリカ・アナハイム市

訪問団員募集

知っていますか？水戸市の姉妹都市の一つは、アメリカにあります。「カリフォルニア・ディズニーランド」があることでも有名な都市・アナハイム市。姉妹都市訪問団の一員として訪れるアメリカで、あなたも貴重な経験をしてみませんか？

期　　間	令和元年 10 月 18 日(金) ～ 10 月 25 日(金) (8 日間)
訪 問 先	カリフォルニア州アナハイム市とその近郊
募集人数	先着 20 名
主な活動	文化・行政視察，施設見学，アナハイム姉妹都市委員会による親善プログラムなど
申込み期間	令和元年 7 月 25 日(木) ～ 8 月 15 日(木)

※詳しくは募集要項をご覧ください。

エンゼルスタジアムにて（平成28年度訪問団）

アナハイム市には
メジャーリーグで活躍中の
大谷翔平選手が所属する
エンゼルスのスタジアムが
あります！

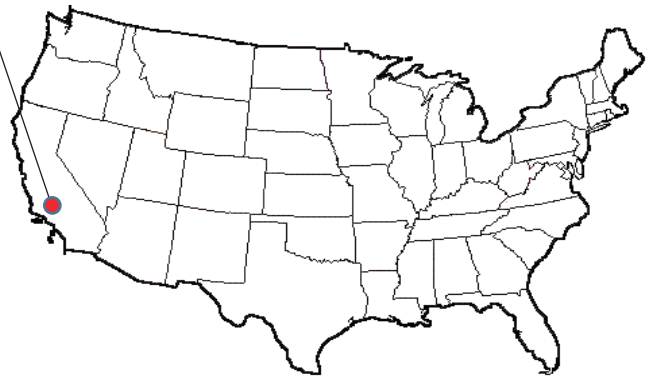
↑エンゼルスタジアムにて
（平成30年度水戸市学生親善大使）

募集要項・申込書は、当協会/市役所（文化交流課）/市民センター（公民館）等にあります。また、協会ホームページからもダウンロードできます。

https://mitoic.or.jp/jp/

アナハイム市（カリフォルニア州）

アナハイム市と水戸市は、昭和 51 年（1976 年）に国際親善姉妹都市の盟約を結び、それ以来様々な交流を重ねています。アナハイム市は、アメリカ西部、カリフォルニア州に位置するオレンジ郡最大の都市です。雨が少なく温暖な気候を持ち、大リーグの野球チーム「ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイム」の拠点「エンゼル・スタジアム・オブ・アナハイム」や、世界初のディズニーランド・パークを含めたディズニーランド・リゾート等、有名な娯楽施設があります。
両市間では、学生親善大使の交換留学を実施するなど、若い世代の国際交流・国際理解活動が活発に行われています。



親善プログラムにより水戸市・アナハイム市間の相互理解を深めるとともに、文化・行政視察を通じて国際的な視野を養うことができます。
多くの方のご応募を心よりお待ちしております。

主催：公益財団法人 水戸市国際交流協会
〒310-0024　水戸市備前町 6-59（水戸市国際交流センター内）
電　話：029-221-1800　ＦＡＸ：029-221-5793
E-mail：mcia@mito.ne.jp
ホームページ：https://mitoic.or.jp/jp/
※毎週月曜日及び 7/16(火)・8/11(日)・8/13(火)は休館日です。

令和元年度
第33回国際親善姉妹都市アナハイム市
親善訪問及びアメリカ文化・行政視察団報告書

発行日　令和2年2月

公益財団法人水戸市国際交流協会
水戸市備前町6-59　電話029-221-1800
※今回の報告書に関するお問合せはこちらへ